



第3回北広島市公共施設等総合管理計画策定検討委員会

次期総合管理計画の骨子案について



- 1. 本委員会の検討経過**
- 2. 庁内検討チーム会議**
- 3. 計画骨子案（別紙）**
- 4. 今後のスケジュール**
- 5. 検討事項**



1. 本委員会の検討経過

2. 庁内検討チーム会議

3. 計画骨子案（別紙）

4. 今後のスケジュール

5. 検討事項

● 第1回検討委員会について

第1回委員会では全体的な考え方について主に議論を行い、様々な意見が出た中で結論としては、最優先に考えるのは地域住民がその地域で安心して暮らし続けられる環境づくりであり、その中で利用者が少ない等の理由のみで施設廃止の判断はできないため、地域の実情を踏まえた判断をしていかななくてはならない一方、客観的指標による施設毎のランク付け（評価）は優先順位を付ける上で不可欠なものであるとされました。

また、市民全員のウェルビーイングを考えていてはいつまで経っても再編は進まないの、整理すべきところは整理していく方向性を示すべきであるといった意見や市民アンケート調査の結果を見ると規模や配置を見直すことは大多数の方が賛成との見解を示していることから一定程度整理をしていく方向性で問題ないとの結論に至ったところであります。

●第2回検討委員会について

第1回委員会の内容、市民アンケート調査の結果等を踏まえ、事務局から今後の方向性についての提案を行い、これに基づき再度議論を進めました。

その中で施設評価について具体的な方法を提案し、内容については賛成との意見を受けたところであるが、ボールパーク効果もあり世間からの注目度も高まっているため、単なる総量縮小ではなく、前向きな投資も必要でメリハリをもった施策を展開していくべきとの声も挙がったところです。

また、施設の需要も一昔前と今とでは変化しているように感じるため、今後10年間を考えたときに需要が少ない施設を整理することはやむを得ないと感じるといった意見もありました。

結論として、まずは施設の優先順位を付けた上で、機能集約が可能なものについては、積極的に行っていく、全国的にもそのような傾向となっているため、当市も財政状況等に見合った計画としていくのが良いとされました。



1. 本委員会の検討経過

2. 庁内検討チーム会議

3. 計画骨子案（別紙）

4. 今後のスケジュール

5. 検討事項

● 第1回庁内検討チーム会議

公共施設所管課長等にて構成する庁内検討チームにおいてこれまで2回の会議を実施し、今後の計画の方向性について議論を行い、第1回会議では以下の意見が出されました。

- ・ 次の10年間は再編を検討していかななくてはならない期間となる。人口が減少したからといって削減できない施設もあるが、再編は進めなくてはならない現状の中、施設の優先順位付けは必要。
- ・ 複数の施設を維持管理していると修繕が追い付いていないと感じる。
- ・ 費用対効果を考えた維持管理をする必要があるが、本当に必要な額を算出するのが難しい。
- ・ 現時点の施設の役割や効果だけではなく、将来的に本当にこの施設が必要とされるかといった観点から考えると集約案が出てくると感じる（時代のニーズに合っているか）。

●第2回検討チーム会議

本委員会での検討状況を報告した上で第2回会議にて出た意見は以下のとおりです。

- ・集会施設については町内会から改修の要望が出ているところもある。利用者数や老朽化で判断するのではなく、地域の声もしっかり聞くべき。
- ・集約化や複合化により発生した削減効果額を還元できる仕組みを同時に検討すると少し前進すると感じる。
- ・壊れてから直すと費用が多くかかるため、予防的に修繕できると良い。
- ・資材高騰に税収が追いついていないと感じる。工事の中断等の話もある中、集約化や複合化を進めないと将来的に維持管理が厳しくなる。
- ・新しく施設を建設する際の考え方も計画内に記載すべき。
- ・施設評価は建替え、統合、廃止などの議論をするきっかけになると良い。



1. 本委員会の検討経過
2. 庁内検討チーム会議
- 3. 計画骨子案（別紙）**
4. 今後のスケジュール
5. 検討事項



1. 本委員会の検討経過
2. 庁内検討チーム会議
3. 計画骨子案（別紙）
- 4. 今後のスケジュール**
5. 検討事項

今後のスケジュール



	総合管理計画	個別施設計画
令和7年4月	計画改定委託（～3月）	劣化状況調査（～9月）
5月	第2回検討委員会開催	
	進捗状況議会報告	改定方針作成
7月	第2回庁内検討チーム会議	
8月	第3回検討委員会開催	
9月	計画骨子議会説明	改定方針議会説明
12月	素案完成	
	第4回検討委員会開催	
令和8年1月	パブリックコメント	素案完成
2月	パブリックコメント結果公表、計画内容理事者説明	
3月	庁内周知、議会報告、最終調整	
4月	次期計画開始	



1. 本委員会の検討経過
2. 庁内検討チーム会議
3. 次期計画の骨子案（別紙）
4. 今後のスケジュール
- 5. 検討事項**

●基本方針について

現計画における基本方針は以下のとおりです。

- ① 行政サービス需要を踏まえた機能・あり方の見直し（統合・廃止の検討）
- ② 将来人口を見据え、地域性を踏まえた適正な配置
- ③ 施設の複合化・多機能化への転換
- ④ 空き（余裕）スペースの有効利活用
- ⑤ 施設の長寿命化・脱炭素化・ユニバーサルデザイン化の推進
- ⑥ 整備手法・広域的な利用の検討（民間のノウハウ、複数自治体による整備）
- ⑦ 市民参加・市民意見の反映

次期計画においては、以下の内容としたいと考えています。

- ① 配置の最適化と再編（集約化・複合化の推進）※旧方針①～③
- ② 未利用資産の有効活用 ※旧方針④
- ③施設の長寿命化・脱炭素化・ユニバーサルデザイン化の推進
- ④ PPP（官民連携）の推進 ※旧方針⑥
- ⑤ 施設評価の実施 ※新規記載

●施設分野別の管理方針について

施設分野別の方針については、現計画よりも踏み込んだ内容とし、抽象的なものではなく、現状を踏まえた上での実効性のある記載としたいと考えています（計画骨子案 22～23 ページ参照）。

●数値目標の設定について

次期計画においても指標となる目標は必要と考えられることから、現計画同様、設定を行います。

具体的な設定方法は財政推計に基づく今後10年間の不足額（不足割合）と施設評価における一次評価結果を加味した上で目標の設定を行うことを考えています。

※一次評価結果は現在実施中の劣化状況調査完了後（9月末完了予定）に行うため、具体的な数値の検討は10月以降となります。

●施設評価方法について

前回の検討委員会において施設評価の実施について説明（別紙資料参照）しましたが、その具体的な方法についてご意見等をいただきたいと考えております。

検討いただきたい内容は以下のとおりとなります。

・評価項目について

→評価案で示した項目で不足はないか、追加が望ましい項目はないか。

・公表方法について

→次期個別施設計画における個別施設シートの附属資料として一次評価結果を公表する方法が良いか、別の方法が良いか。

二次評価をどのように進めていくか。